

みちばたニュース

【10月号】

AEDを知っていますか？

そこにAEDがあれば、
そこに助けようとする人がいれば、
助かる命があります。

AED 自動体外式除細動器
(Automated External Defibrillator)
この現場には皆様の安全・安心のためにAEDを
設置しております。
緊急時にお使い下さい。



ご挨拶

平素、皆様方には道路工事に対しましてご理解・ご協力を賜り深くお礼申し上げます。
工事が始まり、約1ヶ月が過ぎとりあえず順調にきています。各工区の沿道の皆様にはご迷惑をおかけしていますが、**上野工区**及び**上吉田工区**は完成いたしました。
残り4工区も早期完成を目指したいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力の程よろしく申し上げます。
(今後の予定：10月初旬～加斗工区、10月中旬～和田工区、10月下旬～菌部工区、11月中旬～伏原工区 ※天候により、工程が延びることがあります。)



当現場における創意工夫

1. 車両運行管理システム(クラウドアイ)
2. タックコート用タイヤ付着抑制高性能改質アスファルト乳剤の使用
3. 表層の横断施工ジョイントに防水テープを設置
4. 規制先端に進入車両強制停止装置(とまるくん)の設置
5. 反射式リストバンドを着用
6. レーザー距離計を使用し、段差修正の計測
7. 舗装版取壊しに路面切削機を使用
8. 温度測定・外観検査をダンフ1台毎に管理を行う
9. 振動タイヤローラーを使用

【反射式リストバンド着用】
-作業時着用-



各自自分の安全
に対する意思を
表示しています

【反射式リストバンド配付】
-みそみ小学校校長先生-



小学校の班長さんに着
用していただきました

-瓜生小学校校長先生-



工事の計画工程表

上野工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	7月	8月	9月	10月	11月	12月
道路修繕(上野)	完成					
道路土工						
舗装工						
区画線工						

伏原工区 現在の進捗状況 ※夜間片側交互通行規制

工種	10月	11月	12月
道路修繕(伏原)		■	
道路土工		■	
舗装工		■	
区画線工		■	

和田工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	10月	11月	12月
道路修繕(和田)	■		
舗装打換え工	■		
切削オーバーレイ工	■		
区画線工	■		

上吉田工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	7月	8月	9月	10月	11月	12月
道路修繕(上吉田)	完成					
道路土工						
舗装工						
区画線工						

加斗工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	10月	11月	12月
道路修繕(加斗)	■		
舗装打換え工	■		
切削オーバーレイ工	■		
区画線工	■		

菌部工区 現在の進捗状況 ※昼間片側交互通行規制

工種	10月	11月	12月
道路修繕(菌部)		■	
舗装打換え工		■	
切削オーバーレイ工		■	
区画線工		■	

工事の施工写真



【着工前】
-上野工区-



【完成】
-上野工区-



【切削状況】



【舗設状況】



【転圧状況】

施工業者：株式会社 道端組 小浜作業所 (TEL 0770-64-5960)
現場代理人：河原宏泰 URL <http://michibatagumi.aikotoba.jp>
監理技術者：吉田新吾 [ホームページも見て下さい](#)
(お気付きの点がございましたら事務所までご連絡ください。)



当現場における創意工夫

工事名：国道27号路面補修工事

会社名：(株)道端組

1. 車両運行管理システム【クラウドアイ】

10tダンプトラックには、クラウドアイ(車両運行管理システム NETIS HK-100009-A)の設置を行い、ダンプの運行記録を行い急ブレーキ・急ハンドル等の検出を行い安全運転指導を図る。またアイドリング時間からおおよその二酸化炭素量を計算することで運転手の意識を高めCO2削減に努める。

システム概要図

GPS衛星 電波送って現在位置を確認 クラウドアイ 運転車両 クラウドサーバー インターネットを通じて通信機能(位置情報) リアルタイムで表示されます

加速センサーで急挙動を検出、安全運転指導に活用

二酸化炭素排出量を取得し、エコドライブに貢献

クラウドアイは搭載されているGPSセンサ(加速度センサ・重力センサ)で、急制動・急ハンドル・急ブレーキなどの急挙動を検知することができます。急挙動の種類とともに、フォームや文字メッセージで運転手に注意を促せるほか、検知された急挙動はデータの記録サーバーに保存されるため、データに基づいた的確な安全運転指導を行うことができます。

クラウドアイは、走行距離からおよその二酸化炭素量を計算し、その数値も画面に表示することができます。運転手に二酸化炭素排出量に関する意識を高めることで、燃費削減によるCO2削減が期待できるだけでなく、地球環境保護への貢献も期待できます。また、燃費削減のためにも燃費削減やエコドライブといった項目への意識も高まる見込みです。

運行状況の監視が可能

急挙動を検知して安全運転指導

万一の事象も動画で記録

建設現場にも活用できる

4. 規制先端に進入車両強制停止装置(とまるくん)の設置。

誤って突入した車両と一体となる事により強制的に前輪を浮かせ車両の自重を利用して装置底部の特殊ゴムと路面との摩擦抵抗で車両の制動力と相俟って強制的に最短で停止させ道路作業員の“生命の安全と安心”を確保し、突入車両も最短で停止させる事により搭乗者の生命の安全も確保でき二次災害も発生を抑制する。

装置メカニズム

大型車

停止距離

5. 反射式リストバンドを着用することでの安全意識の向上 ※表面に写真あり

反射式リストバンドに個人個人の安全に対する意識の言葉を書き込み手首に着用する。手首に着用することで、作業中常に目につくことになり、安全意識の向上となる。また、新規入場教育の後で、作業員に渡し言葉を書いてもらうことで、入場の印となり、現場での新規入場の教育修了者確認がしやすくなる。

2. タックコート用タイヤ付着抑制高性能改質アスファルト乳剤の使用。

合材ダンプのタイヤへ付着しにくく、路面を汚さないで周辺環境の向上となる。分解後の接着性に優れており、舗装の耐久性を高めます。分解時間が早く、舗設時において速やかに次工程に移れるので、全体工程の短縮を図れる。



6. レーザー距離計を使用し、段差修正の計測

従来段差修正を行うときには、水系で両端人に持って頂き、スケールにて計測を行っていたが、計測するのに、3人必要なことと水系では、どんなに引っ張っても、15mほどで1cmほどたるむ場合があり、正確性に欠ける。レベルを使用すれば、正確性は良くなるが、やはり2人は必要となる。レーザー距離計を使用し計測を行う場合は、スタッフを置いておきスタッフの10cmの箇所距離計からレーザーをあてる。レーザーの発信口の高さも10cmである。あとは、計測したい場所にスケールをおくと、レーザーがあたり、計測値を読む。この工程を一人でできることから、人員を割くことなく、かつ正確な測定ができる。

3. 表層の横断施工ジョイントに防水テープを貼り付ける。

施工時において火気や加熱したアスファルト系注入材を使用せずに、施工継目への雨水の浸透を防止する。施工継目に圧着するだけで舗装面と密着し防水効果を発揮する安全で経済的かつ施工の短縮となる。テープの成分には、再生ゴムを材料の一部に用いており、リサイクルに貢献し環境に配慮したシール材である。



7. 舗装版取壊しに切削機使用

バックホウドと旋回が必要

旋回することなく積込が行える

9. 振動タイヤローラーを使用

動的ニーディング作用で、締固め能力が飛躍的に向上

- 動的ニーディング(こね返し)作用で、骨材の噛み合いとモルタルの充填効果が飛躍的に向上します。(図1)
- 骨材の噛み合いとモルタルの充填が要求される SMA (砕石マスタック舗装) 等の特殊舗装にも最適です。(図2)
- 動的ニーディング作用で継目や型枠部でのブリッキング現象を抑制します。(図3)
- アスファルト舗装および ROP 施工中のヘアークラックを誘発する効果があります。(図4,5)
- 厚層締固め(ロックアップ工法) に対しても所定の密度にて均一に仕上げることができます。(図6)

8. 温度測定・外観検査をダンプ1台毎に管理する

アスファルト舗装工の品質管理で、温度測定(初期締固め前)及び外観検査を試験基準では随時だが、今回の現場では1台毎の管理を行い、測定値の記録も1日4回のところを全台数書面にて記録を残す。